

印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

(木曜日発行)

第4517号

(昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

2月26日 木曜日

平成27年(2015年)

発行所 (株)印刷出版研究所
〒162-0041 東京都新宿区早稲田町5341原ビル電話03(5155)7925
FAX:東京03(5155)7930・大阪06(6353)4944
〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-4千代田ビル東館電話06(6353)4866
年間購読料18,500円(税込)(振替口座00120-4-47973番)

オリジナル企画開発で挑む

日相印刷

日相印刷(荒井功社長、神奈川県相模原市)は、昨年迎えた創業50周年を機に、地元相模原と共に成長を目指す自社ブランドアイシング化と新商品開発に取り組む、着実に成果を上げている。日本印刷技術協会(JAGAT)が主催するpage2015の2日目(2月5日)に行われたセミナーで、同社プランニングマネージャーの荒井慶太氏が取り組みを紹介した。

同社では50周年を機に、誰もがすぐに分かるシンプルな企業理念、経営理念に改定するなど、自社ビジョン・ミッションを明確化。荒井氏は「そもそも社名の『日相』は『日本の相模原』から来る。創業50周年を機に『日本の相模原から世界へ』を目標に、相模原と共に成長を目指す印刷メディアアカンパニーを宣言した」と述べ、「印刷で人を幸せにすることを目指す」と強調する。

相模原市と共に成長

市制60周年で学習パズル

「荒井氏」が、相模原市制施行60周年記念商品化の提案を受け、新しいビジョンとともに、紙に触れることで「紙触効果」、教育・文化・福祉の活性化などをテーマに企画、子どもから高齢者まで楽しめるパズル『びーしーず』が誕生した。相模原市22地区、緑・中央・南の3区のシンボルマーク、マスコットキャラクター4種の計29のピースからなるパズルで、「紙ベースの

地域情報プラットフォーム」との位置付けから無地になっている。1分以内で完成させる「レジェンド市民」認定を目指す遊び方や「びーしーずカード」と組み合わせることで「かるたゲーム」もできる。カードの一種類は裏面を無地にし、自由な問題が書き込めるようになっている。遊び方や遊び方をサポートするとともに商品世界を広げる専門ウェブサイトを開設する。教育用をはじめ、外国人

防止など幅広い用途を見込む。「詳細な地域情報が載ったパズルは飽きずに楽しめるのはせいぜい数十回。無地の地図パズルとクイズを組み合わせて、アクティブ・ラーニングの要素も盛り込まれ

と、自社ビジョン・ミッションを明確化。荒井氏は「そもそも社名の『日相』は『日本の相模原』から来る。創業50周年を機に『日本の相模原から世界へ』を目標に、相模原と共に成長を目指す印刷メディアアカンパニーを宣言した」と述べ、「印刷で人を幸せにすることを目指す」と強調する。

同社では、「約30年間、新商品と呼べるような実績はなかった」(荒井氏)が、相模原市制施行60周年記念商品化の提案を受け、新しいビジョンとともに、紙に触れることで「紙触効果」、教育・文化・福祉の活性化などをテーマに企画、子どもから高齢者まで楽しめるパズル『びーしーず』が誕生した。



荒井氏



相模原市の市制施行60周年記念商品に採用された「パズルで覚える さがみはら〜学習パズル『びーしーず』」

「ている」と話す。販売協力店として、相模原市観光協会のアテナショップから書店・文具店など10社13店が採用。さらに市を通して子どもセンター、児童館など121カ所に寄贈している。地元紙などマスコミにも多数取り上げられ、話題を集めている。

事業後継のため昨年7月、同社に入社。わずか半年ほどの間に、新商品の企画・発売、社内組織や事業体制の見直しと刷新、地域団体・企業との関係強化など、手腕を発揮して精力的に動く。「印刷を憧れる仕事に変えた」と話す荒井氏。今後の活躍が期待される。